

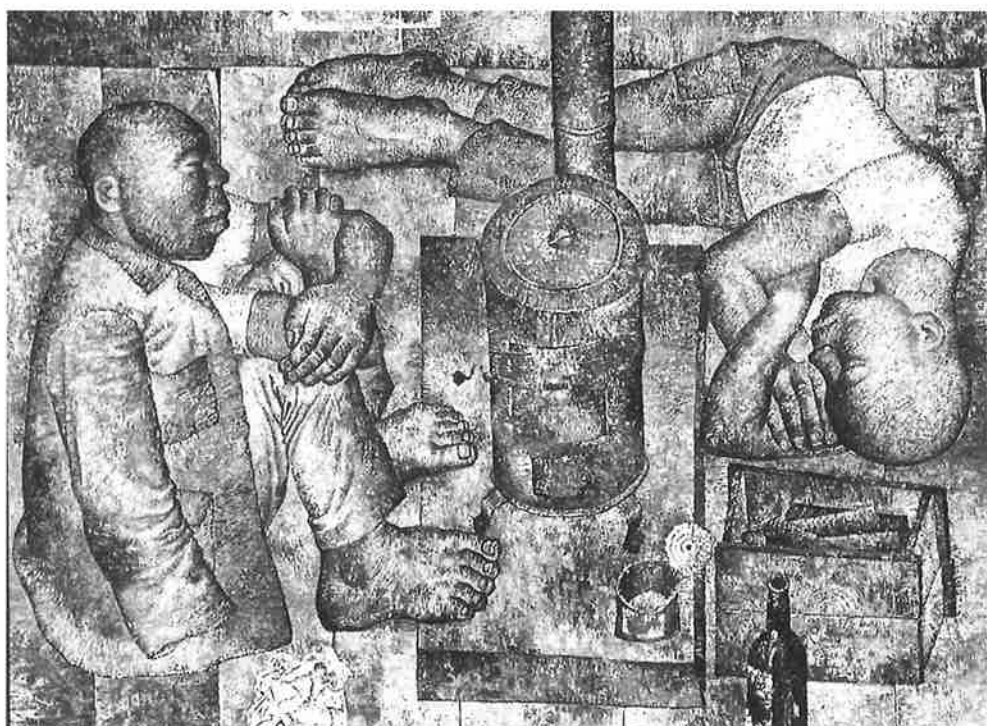


1997.3.31
No.6

記念館だより

神田日勝記念館

〒081-02 北海道河東郡鹿追町東町3丁目2 TEL 01566-6-1555



飯場の風景

一九六三年制作 油彩・板
一四八・二×一八三・五
神田日勝記念館蔵

鉱山労働者・土工などの合宿所を指す「飯場」。神田日勝の生活した当時の十勝には造材山飯場がありました。

この作品に描かれた風景では、太い手足を持った無言の男や今ではほとんど見ることのないルンペンストーブが、冷たい閉塞した空気を伝えてきます。

第2回特別企画展

神田日勝と1960年代の美術

TERASHIMA HARUO

寺島春雄

平成9年3月4日(火)～30日(日)

第二回神田日勝記念館特別企画展
では前回企画展「北の同時代者たち」
で取り上げた作家の中から、寺島春
雄を紹介しました。

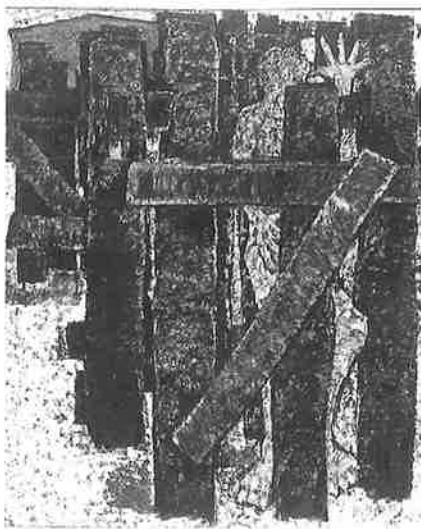
一九二一（明治四四）年に旭川で
生まれた寺島春雄は、制作の場を帯
広に定め、持病の結核を患いながら
も、戦前戦後を一貫して独立展に出
品を続けました。道内では新道展創
立会員、全道展会員になるなど、北
海道の世界に大きな足跡を残して
一九六六（昭和四一）年病状が悪化
し五十五歳で亡くなりました。没後、
作品は寺島春雄遺作保存会によって

北海道立近代美術館・北海道立帯広
美術館・帯広百年記念館等に収めら

れ、独自の画風に根強い支持を受け
ています。

神田日勝は独立展へ初出品・初入
選した一九六四（昭和三九）年を挟
んだ一時期に寺島と交流があったと
いいます。直接、寺島の部屋を訪れ
て作品に触れ、また自作についても
批評を求めたことがありました。当
時、十勝から唯一人独立展へ出品し
ていたのが寺島であり、独立美術協
会の傾向、制作姿勢に共感を覚える
ところがあったのでしよう、神田も
生涯を通して出品を続けます。

しかし、この年は、寺島がその二
年後に亡くなったため二人の作品が
同会場に並んだ唯一の展覧会となり



寺島春雄 柵と人



展示室風景（2F展示室）

本展覧会は、残された作品群の中
から、戦後、帯広へ転居した後の作
品を中心に、シリーズとなった「柵」
を始め「柵と人」、抽象的な色合いを
増していった晩年の作品、亡くなる
直前まで加筆した「無題」等の油彩
画十二点、デッサン三点、他関連資
料を二階展示室において展示し、一
階の神田日勝常設展示と併せて、一
九六〇年代の美術の一端を紹介しま
した。



雪の農場 (小川敬信氏蔵)

平成九年度前期常設展は風景をテーマに特集します。

平成9年度前期展示替え

風景画の世界

平成9年4月1日(火)~9月28日(日)

神田日勝が晩年に「売り絵」として描いた風景画は、大作に見る重苦しいまでの質感、また、躍動感とは全く違った、透明感を宿しています。作品の中の広大な十勝平野や静かな農場風景に、身の回りの風景を重ね合わせ親近感を持って見ていただけるとは思いません。これまでも何点かを紹介してきましたが、今回は記念館所蔵の「水辺の馬」「風景」「湿原の群馬」など馬を題材にした作品に加え、「雪の農場」(小川敬信氏蔵)、「家」(高野齊氏蔵)など個人所蔵の作品と、初公開となる「扇ヶ原」「雪原風景」等のデザインを展示します。



展示風景 (展示室2F)

す。このほか関連資料として、当時日勝の作品を使用した帯広信用金庫のカレンダーを展示します。また、一階展示室では新たに「静物」(三井福源氏蔵)、「静物」(白岩清貴氏蔵)を加え、初期から晩年に至る独特の克明描写の歩みを見ることが出来ます。

新収蔵作品

荒野の廃家

一月、埼玉県狭山市の市村純一氏から「荒野の廃家」を受贈しました。

この作品は一九六五(昭和四〇)年頃と風景画としては比較的早い時期に描かれています。他の作品には見られない、ひっかくような激しい筆致で、新たな側面を見せてくれる作品です。

「風景画の世界」において展示します。



1965 (昭和40) 年頃
油彩・板 37.9×45.2

子どもバスツアーは北海道立帯広美術館で「ブザンソン美術館展 フランス絵画200年の巨匠たち」を鑑賞しました。

教科書で見る「ルノアール」や「ロダン」の本物に驚きながらも、絵や彫刻など様々な作品が並んでいる中から、「自分の1点」に出会うことができましたようです。

心魅かれる作品に出会う。その貴重な機会をもっと多く、色々な作品に触れられるよう、来年度以降も続けていく予定です。

子ども芸術鑑賞バスツアー

3月26日(水) / 北海道立帯広美術館



オーギュスト・ロダン「永久の春」
1894年頃



ピエール・オーギュスト・ルノワール
「ベアトリクス・ベッソンの肖像」
一九一八年



絵画教室 —油絵講座—

12月4・11・18日 2月5・12・19日・3月5日 / 鹿追町民ホール工作室

12月、3回コースで今年度2回目の絵画教室—油絵講座が開かれました。

この講座は10月開催の受講者からの要望に応じて開かれ、13名のうち8名が受講しました。

引き続き斉藤隆博先生を講師に迎えて指導を受けました。

2月には、今年度3回目の講座が、鹿追町立通明小学校長の出村英和先生を講師に迎えて開かれました。

この講座は、2名の初心者を含む6名が受講しました。毎回講座を受講している方もいて、回を重ねる度に描く楽しさも増している様です。

ワークショップは小中学生を対象に、春・夏・冬の3回行います。

初回の冬休みにはアニメーションの原形「ゾートロープ」を、2回目にあたる春休みは、朝のテレビ番組・ポンキッキーズに取り上げられている「ポコポコ車」を扱い、ともに工作を中心に行いました。

作品を作り終えた後は、記念館で作品を鑑賞し、神田日勝を題材にした「塗り絵」「ビンゴ」などで楽しく理解を深めました。

子どもワークショップ

1月17日(金)・3月26日(水) / 神田日勝記念館団体活動室・鹿追町民ホール工作室



子ども絵画教室 —油絵講座—

1月11・13・14日 / 鹿追町民ホール工作室

昨年度初めて開催した小中学生対象の絵画教室。今年度も冬休みに開催されました。

8名のうち5名は前回も受講した経験者であったせいか初めての時の緊張した雰囲気もなく、それぞれキャンパスに向かっていました。

先生が他の子どもの指導をしていると、自分の番を待ち切れず、キャンパスを持って先生に質問に行く子もいるなど、意欲的な場面も見られました。

完成した作品は、2月に鹿追町民ホールで開催された講師の斉藤隆博先生の個展に合わせて展示されました。

感想ノートより.....④

1996. 6. 22

4才目の観覧です。いつか何夜かでも心をゆすぶられ感動したいです。生きる真実を伝えるメッセージが溢れています。またの機会にまた来たいと思います。

創路 鹿又

7/9 写真集を見て感動し、本物に会いたくて埼玉に飛来した。と角、素晴らしい一言です。早川

1996. 8. 4.

やはり来たら良かった。札幌の近代美術館で日勝を知ってから、ずっと思ってた。この記念館が建つのが知り、いっしょに来たいと願っていた。今、満足!! 札幌市、46歳、2女(借日)

8/10. 神田日勝の絵の中からは生活があり、生きることへの感動があり、心に伝わる。私も一生懸命、自分の道を生きてゆかば、..... 札幌市、えみ?

ものすごく感動しました。専任
絵をかくと言うのは、心もかくんだと、たかさんの絵に語りかけられました。

1996. 9/23 北広島市
若葉小学校五年
結衣子

P.S
このしりげを、一生忘れないで生きようと思っております。

9/28 約1年ぶりに来ました。その時そのときによって感じ方が変わるから、何度来ても新鮮だと思えました。 Nagai.



齋藤隆博展

主催／展覧会事業実行委員会
会場／鹿追町民ホール
2月14日～20日

齋藤隆博氏は一九四二年砂川市に生まれ、北海道教育大学岩見沢校美術科を卒業。在学中の六四年に道展・全道展に入選。六六年に独立展入選。独立展では神田日勝と同時に作品が展示されている。現在全道展会友、平原社展会員として制作活動を続けておられます。

今回の個展は彩の会等の希望で実現の運びとなったもので、昨年七月六花亭ギャラリーでの個展に続くものであり、町村では初めての開催。六花亭では会場の都合で展示されなかった作品を含む半具象の大作十六点の他、静物画の小品など、二五年の画業を跡付ける三三点が並べられました。

会期前日にはオープニングセレモニーが開催され、関係者が齋藤氏の画業を語り合い、作品を囲みながらの懇談が繰り広げられました。
また会期中は折りからの降雪にもかかわらず二五〇名を越す観覧者が訪れ、齋藤作品の魅力を堪能しました。



作者の言葉

創造することは絵を変えることだ。と、問い続けて三〇年余り、私にとって絵を描くことはようやく自分の生き方を考える糸口になってきたような気がします。

ちよつとINFORMATION

平成9年度事業予定

●神田日勝記念館・関係団体事業

- ・木田金次郎と神田日勝展 (10/1～12/21)
- ・個人所蔵作品による神田日勝展 (2月)
- ・馬の絵作品展 (10/7～12)
- ・芸術鑑賞バスツアー
- ・子ども芸術鑑賞バスツアー
- ・絵画教室
- ・子ども絵画教室
- ・子どもワークショップ

●実行委員会事業

- ・蕪壱祭 (6/17)
- ・馬耕忌 (8/24)
- ・展覧会
「北4人展・北彩5人展・北の風」展 (4/29～5/8)
砂田友治展 (8/9～24)



ポストカード

新発売

4月よりポストカード2種を新発売します。新しい2種は、「風景」と「静物」で、これで神田日勝記念館のポストカードは全18種類となります。